

6月メディア総局長定例記者会見要旨

(1) “若者向けゾーン” に新コンテンツ登場 (林メディア総局長)

今年度、総合テレビの午後11時台を若年向けゾーンと位置づけて、3か月ごとに、多彩なコンテンツをお届けすることになっている。これからご紹介する番組は、いずれも開発番組として放送し、視聴者の皆様から一定の評価をいただいた番組だ。まず、「阿佐ヶ谷アパートメント」を放送していた月曜日は、「朝ごはんラボ」という番組になる。井川遥さんによる、朝ごはんにまつわるショートドラマと各地の朝ごはんの風景や食材を訪ねる番組。1日の始まりである「朝ごはん」の魅力を深掘りする番組だ。これまで、BSプレミアムや総合テレビで放送したが、女性からも男性からもよく見られた。火曜日は「ニッポン知らなかった選手権 実況中！」という番組。様々な業界団体の方が、仕事場で使う実践的な技を向上させるために行うユニークな技術大会がある。ここに潜入して、そのスゴ技に迫る。こちらも総合テレビで放送して好評だった。水曜日は「笑わない数学」という番組になる。難解な数学の世界を大真面目に解説する異色の知的エンターテインメント番組だ。出演はパンサーの尾形貴弘さん。先週も総合テレビで放送し、視聴者の皆様の声を反映させた上で、定時番組としてスタートする。このように、総合テレビの午後11時台は、若年層に向けて今後も分析しトライアルしながら多彩な番組をお届けしていく。このほか、7月からはEテレでも新しい番組が始まる。福祉ジャンルの新番組、「超多様性トークショー！なれそめ」だ。発達障害のある別居婚カップルなど、毎回、1組の多様なカップルをお招きし、田村淳さんやゲストと一緒におしゃべりをしながら、多様な幸せの形を見つめるユニークな番組だ。7月からの新番組にご期待いただきたい。

(詳細は報道資料を参照)

(2) 参議院選挙について (山内メディア戦略副本部長)

今日まさに参議院選挙の公示日ということで、大変お忙しいところ、皆さんお集まりいただき、感謝申し上げます。この参議院選挙、7月10日(日)が投開票日だが、言うまでもなく、選挙は、国民にとって最大の政治参加の機会だ。NHKでは、これまでと同様、各党の政策や争点を、視聴者のための判断材料となる情報を公平・公正に提供するとともに、開票状況や政局の動きなどを正確・迅速にお伝えしていきたいと考えている。毎回、選挙報道の取り組みについてはブラッシュアップをしているが、今回行う新たな取り組みの中から、今日は2つ、ご紹介させていただきたい。まず1つ目は、今月15日に立ち上げた参議院選挙の特設サイトを通じて提供する「ボートマッチ」という新しいサービスについて。「ボートマッチ」は、インターネットを通じて候補者との考え方の一致度を測ることができるというものだ。具体的に言うと、NHKでは選挙区と比例代表のすべての候補者に、政策などに関するアンケートを行い、その回答をNHKの特設サイトに掲載していく。有権者の皆様には、候補者と同じ質問に答える形でチェックをしていってもらおう。そうすると、ご自身と候補者との考えの一致度がパーセンテージで表れる。これが、この「ボートマッチ」という仕組みだ。投票の際の判断材料の1つにしていきたい。もう1つの取り組みは、「みんなの選挙」と名付けたプロジェクト。これは、選挙の際に、例えば歩行が困難だったり、視覚に障害があったりといった理由などから、投票に行けなかった、あるいは行きづらかったという人、さらには障害のある人をサポートする人たちに向けた新しい取り組みと考えていただきたい。定時のニュース番組や、「ハートネットTV」などで展開し、このうち「ハートネットTV」の選挙特集は、7月5日(火)午後8時から、Eテレで放送を予定している。特集サイトでは、「点字での投票」や「代理投票」、病院や福祉施設から投票する方法などをわかりやすく解説している。このほか、障害のある人の投票をサポートする自治体の先進的な取り組みなどを紹介している。また、障害のある人が選挙の投票についてこれまで不便に感じたことなど、NHKに寄せられたご意見も掲載していく。これらの取り組みを通じて、1人でも多くの方の選挙への参加につながることを目指している。投開票日の7月10日(日)は、午後7時55分から総合テレビで開票速報番組を放送する。本部と地域放送局あわせて54局のネットワークを生かして全国各地の選挙事務所を中継でつな

ぐなどして、ライブ感たっぷりにお伝えしていきたいと考えている。選挙情勢に精通した解説委員の分析なども交えて深く多角的に報道し、視聴者の皆様の関心に応えていきたいと考えている。なお、開票速報に伴い、この日の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」は休止とさせていただく。開票速報は、ラジオ第1、FM、国際放送でもお伝えする。開票速報番組については、インターネットの放送同時提供も実施する方針だ。また、若い世代に選挙への関心を持ってもらうために、様々な取り組みをしている。資料の最後にある、3分間のショートコンテンツについても随時放送していきたいと考えている。YouTubeでも配信する予定だ。選挙を身近に感じていただき、投票行動につながると期待している。

(詳細は報道資料を参照)

(3) NHKプラスのテレビアプリ(正式版)について (熊埜御堂メディア戦略本部長)

ことし4月にリリースしたNHKプラスのテレビ向けアプリは、6月末までの3か月間、動作検証期間として、ログインせずに利用できる「試行アプリ」を配布していたが、この度、「正式版」として、7月1日に改めてリリースすることにしたのでお知らせする。動作検証期間中は、今後の安定したサービス提供に向けて、機器やソフトウェアの動作に関する情報提供をお願いしている。多くの皆様から、動作状況や使い勝手に関するご意見などをいただき、感謝申し上げます。7月から配布する、「正式版アプリ」では、番組を視聴する際、NHKプラスのIDによるログインが必要となる。テレビの大画面で見逃した番組を見られる利便性と、受信契約をお持ちの方には、追加のご負担なくご利用いただけるサービスであるということ、改めて積極的に広報していきたい。また、パソコンやスマホ向けアプリも含めて、来月以降、「仮登録」のスタートに向けた準備を進めている。住所や氏名を入力しなくても、IDを兼ねたメールアドレスとパスワードを登録すれば、すぐに各機能をご利用いただけるようにする。まずは手軽にNHKプラスを体験することでサービスの魅力を実感していただき、より多くの皆様にご利用いただきたいと考えている。

<不審メールについて>

このところ、NHKを名乗る不審なメールがお客様のもとに届いている。NHKからの「アップグレード通知」や「受信料支払いの確認」などといって、リンクを貼った架空の登録ページに誘導し、クレジットカード番号などを入力させようというものだ。お客様に対しては、夜間の経営広報番組「#NHK」や「首都圏ネットワーク」をはじめとする地域のニュース・情報番組などで注意喚起の放送を行い、NHKオンラインでの「お知らせ」とあわせて注意を促す情報提供に努めている。

(詳細は報道資料を参照)

(4) 「らじる★らじる アプリ」リニューアルについて (熊埜御堂メディア戦略本部長)

続いて、ラジオの同時配信、聴き逃し配信が楽しめる「らじる★らじる」のアプリのリニューアルについて、ご説明する。NHKネットラジオ「らじる★らじる」は、2011年より、ラジオ第1、ラジオ第2、NHK-FMのネット同時送信を始め、2017年からは、聴き逃し配信を行っている。聴き逃し配信は、この5年間で、多くの方にご利用頂けるようになった。ここ数年は毎年30%ほど増加を続け、現在では同時配信よりも多くの方に聴いていただいている。聴き逃し配信の対象番組も増えてきたことから、より使いやすく、多くのリスナーの皆様にNHKラジオの番組を楽しんでいただけるよう、来月、アプリのリニューアルを予定している。詳細は担当からご説明する。

(以下、担当者)

現在、使っていただいているアプリは、同時配信の利用を第1に考えられたユーザーインターフェースだ。画面には、大きくR1(ラジオ第1)、R2(ラジオ第2)、FMのボタンが並んでいて、聴き逃しは青いボタンをタップして、更に先に進まないで聴くことができなかった。今回リニューアル予定のアプリは、同時配信用のボタンを、右下のラジオのチューニングダイヤルのような形で常に表示させつつも、様々な聴き逃しコンテンツを利用しやすいデザインとした。番組表から聴き逃した番組をすぐに再生できる機能や、リスナーからの要望も取り入れ、再生速度も変更できるようにした。また、検索もわかりやすく、該当番組、聴き逃しコンテンツ、番組の書き起こし記事など、アクセスしてすぐに楽しめるよう、使いやすいよう工夫をしている。現在、最終的な確認作業を行っており、7月中には、リリ

ースしたいと思っている。引き続き、皆様のご意見・ご要望をしっかりと受け止めながら、コンテンツの充実や利便性の向上など、できることから、サービスを改善していきたいと考えている。

(詳細は報道資料を参照)

(5) テレビ70年に向け「NHKテレビ放送史」公開 (林メディア総局長)

日本のテレビ放送は、来年2月1日に開始から70年を迎える。NHKでは、このテレビ70年に向けて、放送開始からおよそ2万5千日分の番組記録、そしてアーカイブに残るおよそ100万本の保存番組を初めて網羅的に調べた。そして、その結果を「NHKテレビ放送史」としてまとめ、テレビ放送開始以来の、ほぼ全ての定時番組と主な特集番組を紹介するウェブサイトを開示した。このサイトには、ドラマやニュースなど各ジャンルの歴史や年表とともに、それぞれの番組の短い動画を可能な限り掲載している。この「NHKテレビ放送史」は、70年にわたるテレビの歩みを次世代に残すという目的だけでなく、視聴者の皆様に懐かしい番組にもう一度触れていただいたり、番組の内容や出演者などの詳細情報も確認したりできるサイトになっている。ぜひご利用いただければと思う。詳しくは、担当者からご説明する。

(以下、担当者)

「NHKテレビ放送史」のウェブサイトでは、年別、それからジャンル別などで過去番組をまとめている。ジャンル別の放送史から見ていただく場合には、大河ドラマ、クイズ、ゲーム、ドキュメンタリーなど40のジャンルの中から選んでいただく形となる。例えば語学だと、語学番組の歴史とともに、黒柳徹子さんご出演の1965年放送「英語会話」など、いくつかの関連の動画が紹介されている。このサイトには、NHKが放送してきた3千数百に上る、ほぼ全ての定時番組や、主な特集番組など、1万本を超える番組紹介動画が掲載されている。また、出演者をクリックすると、過去の代表的な出演番組などの動画もご覧いただける。それぞれの番組については、各放送回の概要、放送日や出演者、当時の番組表などもご覧いただける。その他、番組年表や番組のエピソードを散りばめた700を超える特集記事など、様々な切り口からNHKテレビの放送史を紹介しているので、ぜひご利用いただければと思う。

(詳細は報道資料を参照)